

あひさま



スマイル



わかまつ学級キャラクター
まもるくん



感謝まつり特集：準備

12月に開催した「感謝まつり」について、詳しくお伝えします。

【雪の結晶のような飾り作り】

折り紙を折って切り込みを入れると、雪の結晶のような形になります。切った後に開くと、思いがけない美しさに。子ども達は、開く時にいつも歓声をあげていました。



余丁町小にも、この繊細な作業が得意な教職員がいて、感謝まつりのためにいくつも作成してくれました。

作った雪の結晶は、飾りとして台紙に貼りクリップを付けます。磁石が付いた釣り竿も用意すると、「冬物釣り」コーナーの出来上がり。

【しおり作り】

入院に付き添ってくれている家族は、空いた時間に本を読んでいることがあるそうです。家族のためにしおりを作りたい！そんな思いから、しおり作りは始まりました。

感謝まつりには小さい子が来てくれるかもしれない、自分で塗り絵ができるしおりも用意しました。

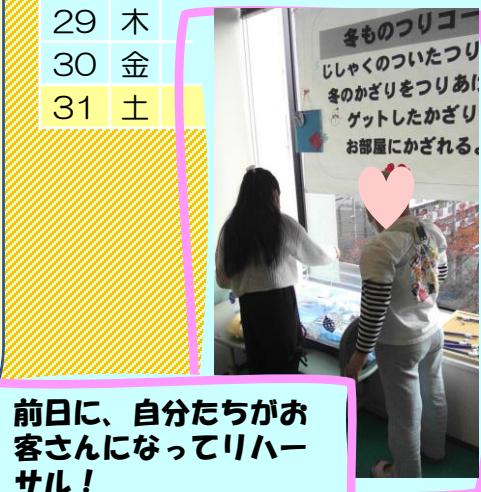


準備が間に合わず、子ども達は病室に用紙を持ち帰って描いていました。そしていよいよ本番です！

令和8年1月13日
新宿区立余丁町小学校
校長 佐藤 郁子
わかまつ学級担任

～No.121～ 1月の予定

8	木	始業式
9	金	2時間授業
10	土	
11	日	
12	月	成人の日
13	火	
14	水	2時間授業
15	木	
16	金	
17	土	
18	日	
19	月	
20	火	
21	水	2時間授業
22	木	
23	金	
24	土	
25	日	
26	月	
27	火	
28	水	2時間授業
29	木	
30	金	
31	土	



感謝まつり特集：本番

【わかまつ学級にお客様が！】

看護師さん、お医者さん、ソーシャルワーカーさん、薬剤師さん、事務の方々など、勤務されている多くの方々が来てくださいました。余丁町小学校からは、授業時間なので教職員代表として副校長先生が登場。子ども達は、本当にたくさんの大人に見守ってもらっていることを実感していました。

入院中の園児も、保護者の方と一緒に来て楽しんでくれました。小さい子が楽しんでいる様子に、年上として目を細める子ども達でした。

【冬の飾りを釣るお店】

児童は、お客様にまず釣竿を選んでもらいます。初級用は強力な磁石、上級用は弱くてくっつきにくい磁石の釣り竿です。ゲーム性を高めるアイデアも子ども達の発案。楽しんでくれている様子に、お店屋さんも嬉しそうです。

【輪ゴム鉄砲との的当てのお店】

輪ゴム鉄砲は、割り箸を使わず、指を鉄砲型にして輪ゴムを掛けて撃ちます。昔ながらの撃ち方ですが、これも子ども達の発案です。「懐かしい！」と、大人のお客さんは喜んでくれました。

小さい子には、床に置いたダーツの「まと」にボタンを投げて点数を競う的当てです。お客様の希望を聞いてテキパキと進めていました。

こんなにたくさんの方々が来てくださったのは、初めて！



小さい子も来て
くれてうれしい！



【入院病棟へ。訪問販売のお店屋さん！】

子ども達が今回どうしても実現したかったのが、この「訪問販売」。入院中は、治療の関係で病棟からは出ない約束になっていたり、治療時間と重なって行けなかったりする子どもがいることをよく知っています。また、来られる大人がいるということは、逆に病棟を離れられない大人がいることもよく知っています。

プレゼントする冬の飾りやしおりを持って病棟に戻りました。看護師さんと一緒に廊下を回って、お互いに安全で負担のない形で渡しました。



開催に当たっては、各部署に連絡を取ってくださいったり、実現可能性を高める方法を考えくださいったり、皆様にお世話になりました。本当にありがとうございました！